

2016 年 9 月 25 日 「神の祖国」

井田幸二先生

＜訓読のみ言＞

『御旨と世界』

神の祖国 一九八〇年二月二十一日 ニューヨーク ワールド・ミッション・センター
怨讐を愛するという単純原則

さて、きょうあなた方は、その答えを得られました。あなたの敵を愛しなさいということです。もし、ある人が、自分にとって苦手な人であるとしましょう。彼が敵なら、彼を愛しなさい。するとあなた方は彼を征服するでしょう。天国はその法則から生まれます。あなた方が敵を愛する行為、その一点から天国は栄えるでしょう。ですから、レバレンド・ムーンの哲学は非常に単純です。原理は非常に単純です。怨讐（敵）を愛するという姿勢をもち、実践するという一つの原理によって、あなた方はどんなものをも克服できるでしょう。どんな障害も、あなた方の前に立ちはだかることはありません。

私は六十年の生涯の中で、あらゆることを体験してきました。したくなかったこと、取り組みたくなかったこと、行きたくなかった所が、あまりにもたくさんありました。だからこそ私は行きました。だからこそ、私はしたのです。なぜなら私は敵を愛したいと思ったからです。一番嫌なことを私は率先してやりました。だから私は労働者になり、農民になり、乞食にもなりました。船着き場の労働者にも、鉄鋼労働者にも、炭鉱夫にも……。すべてです。私はまた、グロスターで漁師にもなりました。そこではプロの漁師たちも降参しました。私の記録に誰もついてくることができませんでした。

ですから私は毎日生活しながら、この原則を行っています。ですから、統一教会の原則は単純です。私たちは単純な原則を実践します。私たちは、その原則にのっとして生きるのです。外部の人々は顕微鏡を使って、統一教会の秘密を見つけようとしますが、見つけられません。そんな単純な原理が顕微鏡によって見えるはずがないからです。でも私たちは、それを行います。私たちはそれに対して真剣です。

きょう私が話している題目は、何でしたか。「神の祖国」です。神は一つの国を必要としています。地上の神の祖国です。私たちはそれをもちませんでした。その国は「あなたの怨讐（敵）を愛しなさい」という一つの原理を実行します。